



よこすか市議会だより

No.50

令和5年(2023年) 11月9日号

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会議会事務局課]

横須賀市議会

検索

✉pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

発行 横須賀市議会
編集 広報広聴会議



関東学院大学よりインターンシップの受け入れを実施しました(3面に関連記事を掲載)



コロナ収束を見据えた予算編成に向けての決算審査

9月定例議会

8月30日～10月4日までの36日間の期間で9月定例議会を開催しました。14人の議員が4日間一般質問を行い、市長・教育長・上下水道局長と議論を交わしました。(3面に質問項目を掲載)

今回の定例議会は、全33件の議案を審議しました。議会期間の前半では、新型コロナウイルス対策事業の終了に伴う予算減額や、青少年の家廃止に伴う機能移転のための増額などの補正予算を審査し、また9月15日にも旧市宮住宅の跡地活用などに関する追加の補正予算の提出がありました。

毎年9月定例議会で行う決算審査は、昨年度の予算執行が適切であったか、事業の効果はあったかなどを検証して、来年度の予算編成に反映させる重要な審査です。コロナ収束を見据えて様々な観点から議論を交わしました。

最終日の10月4日には、さらに追加の補正予算として、台風13号の影響を受け必要となる水路整備工事や、下町浄化センター汚泥焼却炉故障に関連した汚泥処分費の補正が出され、分科会で審査を行いました。

議案は本会議における採決の結果、いずれも可決・認定・同意されました。(4面に審議結果を掲載)

廃止となる新型コロナウイルス感染症対策事業について確認

令和5年5月8日に、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における新型コロナウイルス感染症の位置づけが季節性インフルエンザと同様の5類に移行したことに伴い、国・県の通知等により事業が終了したものを対して行う予算減額について質疑をしました。

新たに10月から廃止となる事業は、相談センターの運営(コロナに関する相談)、透析患者等のみ対象とされていた感染者の移送(感染者全員対象とした移送は5月に終了)の2事業です。

主な質疑

問 相談センターの運営が廃

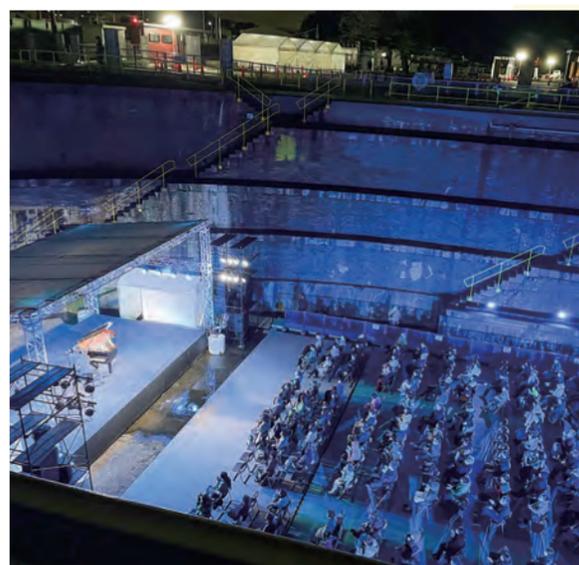
観光施策について幅広く質疑

市では、歴史や文化、スポーツを生かした様々な観光施策に取り組んでいます。令和4年度もルートミュージアムを中心とした市内周遊の促進、サブカルチャーやスポーツを活用した集客イベントなど、多くの事業が展開されました。決算審査においては、様々な視点から質疑がなされました。

主な質疑

問 障害の有無や年齢にかかわらず、様々な方が楽しめるユニバーサルツーリズムの視点が大切である。各サテライトを巡るルートミュージアムのモデルコースの中に、椅子でも回れるルートは含まれていたか。

答 椅子の方が回りやすいルートを示せるほどのデータはまだ蓄積されていないが、昨年度から「Universal MaaS」の取組の中で、車椅子のユーザーから、



MEGURU Project 2022音楽ライブの様子(浦賀ドックの特設ステージ)

各観光施設に行くまでの段差やエレベーターの有無などのデータを蓄積する取組を進めている。

問 コロナ禍にもかかわらず、令和4年度の観光客数がコロナ前くらいの水準である800万人弱まで増えている成果をどう捉えているか。

答 音楽、スポーツ、エンターテイメント、地域の文化や歴史を融合させて発信やPRを行ってきた結果だと思ふ。令和7年

度の目標1,000万人に向けて、これまで蓄積してきたノウハウやネットワークなどを活用して努力していきたい。

問 次の目標に向けてインバウンドの戦略を練る必要性についてはどう考えているか。

答 特に今年は、対象国を絞って調査をし、モデルコースを作り、その周辺の商店等にビザン対応等の協力を依頼することで、外国の方も楽しめるコース作りを始めたところであり、今後も力を入れていきたい。

止となるが、今後はどのように対応するのか。

答 国の費用負担は9月末までと通知されている。10月からは保健予防課と市のコールセンターで相談の対応にあたる予定。

問 国では内閣感染症危機管理統括庁を設置し、厚生労働省でも感染症対策部を新設した。こうした流れに伴い、対策の迅速化を図っていただきたい。

答 コロナ感染が再び増え始めたことにより、国の動きも変わってきた。また、全国知事会でも10月以降の公費負担を継続するよう申し出をしている。国が新たな方向性を示せば、それに柔軟に対応していく。

その後、相談センターの運営については、国が9月以降も継続する方針を示したため追加の補正議案を可決し、10月から引き続き継続することになりました。

特定空家の行政代執行について審査

所有者による改善が見込めず、著しく保安上危険となるおそれがある管理不全の特定空家を行政代執行により除去するため、当該建物の除去等にかかる費用約2,260万円の補正予算議案が提出され、委員会で審査を行いました。

今後、建物調査を経て、令和6年1月から解体工事が予定されています。

主な質疑

問 解体工事が2,24

7万円と非常に高額になっている。一般的な解体費用よりも高額なのはなぜか。
答 敷地が斜面地で高低差があるため、足場を高く設置する必要がある。また、重機を置く場所が限られており、通常の解体工事に比べて、人力で行う部分も多いため、費用が多くなる。その他、解体後の侵入防止フェンスの設置やアスベストが含まれていた場合の除去費用等も見込んでい

る。
問 今回の行政代執行は市内で何例目になるのか。
答 空家等対策の推進に関する特別措置法における略式代執行としては2件目となる。
問 解体工事が始まると、通行止め等が発生すると思うが、どのように対応するのか。
答 工事の詳細が決まり次第、地元の町内会を含め丁寧に説明し、工事を実施していきたい。

「(仮称)健康推進プランよこすか」の策定に係る報告を聴取

現在の「健康・食育推進プランよこすか(第3次 横須賀市健康増進計画、第2次 横須賀市食育推進計画)」及び「横須賀市歯及び口腔の健康づくり推進計画」の計画期間が令和5年度で終了するため、令和6年度からの一体化した新たな計画として、「(仮称)健康推進プランよこすか」の策定を進めています。

主な質疑

問 計画期間が12年となっているが、根拠はなにか。
答 国や県の計画期間に合わせる形で12年とした。
問 市内の様々な計画はこの新しいプランより期間

が短い、他の計画と連携していくにあたり、整合性をどのように考えているのか。
答 12年は長い期間となるため、6年後に中間見直しを実施する予定。
問 6年でも十分長い。もう少し短い期間での見直しも検討すべき。
答 状況に応じて柔軟に検討していく。

新しいプランは、令和5年8月に横須賀市保健医療対策協議会へ諮問し、横須賀市健康増進計画・食育推進計画専門部に付託され、令和6年1月の答申に向けて、素案の策定を進めています。その素案について、



現在の「健康・食育推進プランよこすか(第3次 横須賀市健康増進計画、第2次 横須賀市食育推進計画)」

南処理工場煙突部ほか解体工事の請負契約締結議案について審査

南処理工場は、令和2年3月末に施設が廃止されてから既に3年以上が経過し、腐食等の老朽化が進行している状態です。特に煙突については、高さが170mもあり、倒壊した場合は周辺に甚大な被害をもたらす可能性があります。そのため、煙突の解体工事を実施するための

主な質疑

工事請負契約の議案が提出され、委員会で審査を行いました。

問 今回の解体工事は、作業自体は南処理工場の敷地内のみで実施するのか。周囲の久里浜緑地等には影響はないか。
答 敷地内のみでの工になるが、場合によっては煙突前の道路が通行止めになる可能性はある。
問 令和3年12月定例議会の生活環境常任委員会における南処理工場の煙突解体延期に係る報告説明資料の中で、解体しない場合

の必要経費として、煙突のさび等の腐食が進行した場合、ケレン塗装等の安全対策工事が発生すると示されていたが、この安全対策工事は実施したのか。
答 今年度はこの煙突解体工事を実施しない場合には、安全対策工事を実施しなければならなかったが、その費用も約2億2,000万円もかかることが判明したため、安全対策工事はなく、煙突の解体工事を実施することにした。



解体が決定した南処理工場の煙突

問 煙突を解体できるまでの間は、適切に維持管理を行うとのことだったが、今回のタイミングで解体工事を実施することになったのは、維持管理できなくなるを超えてしまっている、それだけ煙突の危険度が増しているということか。
答 南処理工場を廃止し、煙突を使用しない状態が長く続いたことによつていくことができるよ

大学との連携について質疑

市と関東学院大学は、人材育成や地域課題の解決を目的に、包括連携協定を締結しています。決定を締結しています。決算審査においては、令和4年度の関東学院大学との連携状況のほか、他大学との連携の可能性についても質疑がなされました。

問 市内や近隣自治体の大学との連携によつて、地域課題の解決に結び付くような取組も推進していきたい。
問 論文の研究フィールドとして横須賀市を使つてもらつて、各部署の事業の評価や、市の課題に対するアプローチについての研究をしていただき、その研究成果を市が次の政策立案に生かして

いくことができるとよいと思うが、そのような検討はしてきたか。
答 昨今、データに基づいた取組が求められている中で、例えば、情報分析関係の学部がある大学と連携し、市の取組の基礎データを渡して課題の分析や提案を依頼することなどはできると思っています。今後考えていきたい。

主な質疑

問 関東学院大学以外の他大学との連携を推進して

予想以上に老朽化が進み、危険と判断して、今年度、解体工事を実施することとした。

問 今回は、煙突部のみ先に解体するということが、メインとなる工場棟も含め、その他の施設については今後どのような形で解体が進んでいくのか。
答 本体の解体工事もかなり多額の費用がかかることが想定されるので、まずは財源確保に向けて、様々な国の補助金等を検討し、財源確保の見通しがついたら解体工事を実施したい、と今のところ考えている。

「くりはま花の国」官民連携可能性調査業務委託について審査

くりはま花の国は観光や集客の拠点として、年間40万人の来園者数があります。花の時期以外にも、より多くの来園者を呼び込み、さらなる公園の魅力向上を目指し、官民連携による公園全体のリニューアルの可能性を調査するための補正予算議案が提出され、委員会で審査を行いました。

主な質疑

問 官民連携によるリニューアルの可能性を探るといふことで、試みとしては非常にいいと思うが、なぜこのタイミングでの補正なのか。
答 事前に事業者ヒアリングを実施したところ、ある程度前向きな事業提案を受けることができ、また、令和7年度に実施する次期指定管理者の選考があることから、このタイミングでの補正となつた。
問 来園者の居住地を把握し、それぞれのニーズを酌み取っていただきたい

か。
答 本体の解体工事もかなり多額の費用がかかることが想定されるので、まずは財源確保に向けて、様々な国の補助金等を検討し、財源確保の見通しがついたら解体工事を実施したい、と今のところ考えている。



問 今回の公園全体でのサウンディング調査をする予定である。どのような手法であれば最小の費用で最大の効果があげられるかについては、官民連携可能性調査で考えていきたいと思つている。

関東学院大学との包括的パートナーシップ協定に基づき インターンシップの受け入れを 実施しました

横須賀市議会は関東学院大学と包括的パートナーシップ協定を結び、議会が政策立案をする際に専門的な知見を得たり、学生が議会に接することで市政に対する関心を高めるなどお互いの人的・知的資源を活用し、相乗効果を生み出せるよう取り組んでいます。

同協定に基づく取組の一環として、学生が実習生として議会活動を体験するインターンシップの受け入れを毎年行っています。

今年は8月1日から4日間にわたり実習を行いました。議会局の職員とともに議場の見学や政務活動費のチェック業務を行ったり、各党派とともに政策懇談会に参加したり、海上自衛隊や放課後児童クラブを見学したりしました。

実習生からは「インターンシップに参加したことで分かったこともあり、経験することができてよかった」、「議員に対しての印象が変わった」などの感想が寄せられました。若い世代が議会を身近に感じられるように、今後も同協定の活用を進めてまいります。

議員研修会を開催しました

市議会では、議員の政策立案・形成能力の向上のため、毎年、議場において議員研修会を開催しています。

今年は9月12日に、「こども家庭庁の取組とこども政策の概要について」をテーマに、こども家庭庁長官官房参事官（総合政策担当）付参事官補佐（計画担当）新田義純氏の講演が行われました。国が考えるこども政策の進め方と地方自治体への役割期待についてお話いただきました。



令和5年9月12日議員研修会「こども家庭庁の取組とこども政策の概要について」

また、10月2日には、ジェンダー平等に関する正しい理解を深め、全ての政策・施策・事業や日々の情報発信・発言にジェンダー平等的視点・人権的視点を反映させるため、市と合同で、ジェンダー平等に関する研修会を行いました。

「ジェンダー平等の実現に向けて：国内政策の最新動向と自治体の実践例」をテーマに、ジェンダー・スペシャリスト、特定非営利活動法人 Gender Action Platform理事の大崎麻子氏の講演が行われました。持続可能な社会作りにジェンダー平等推進が不可欠であることを市と市議会がともに確認し合う場となりました。



令和5年10月2日ジェンダー平等に関する研修会（議会と市の合同開催）

今回は、12月12日午後2時から「若者の政治参画について」をテーマに日本福祉大学の両角達平氏の講演があります。当日は傍聴が可能です。開会30分前から市役所R1階にて先着順で受け付けします。

9月定例議会 一般質問

発言通告の全文はこちら→



<p>自由民主党 池田徳重</p> 	<p>①防衛施設の強靱化について ②米海軍横須賀基地におけるPFOS等の流出について ③第13代全国基地協議会会長としての決意について</p>
<p>公明党 菅原恵美子</p> 	<p>①本市の発達障害児に対する支援体制の質の確保 ②公立保育園でのおむつのサブスクリプション導入</p>
<p>日本維新の会 ひろなか信太郎</p> 	<p>①介護保険における地域加算等級区分の見直しへの提言 ②地域密着型通所介護の施設外活動を給付対象としては ③逆・介護保険制度の導入検討について ④介護職員へのハラスメントが軽視されていること</p>
<p>日本共産党 井坂直</p> 	<p>①マイナンバーカード利用者の管理負担と自治体業務負担 ②青少年の家や公園プール等の廃止の進め方を見直しては ③介護予防・健康増進の取組と高齢者の居場所づくりを ④ゼロカーボンと石炭火力発電所のCO₂排出量について</p>
<p>自由民主党 西郷宗範</p> 	<p>①持続可能な町内会・自治会の運営について ②認知症への取組について ③海洋都市横須賀における海水浴場の在り方と海のブランド化について</p>
<p>よこすか 未来会議 加藤ゆうすけ</p> 	<p>①歩道へのベンチ設置について ②日よけを造ることについて ③雑草の生い茂る場所の管理について ④本市子ども若者行政の今後について</p>
<p>公明党 本石篤志</p> 	<p>①本市の認知症施策全般に対する取組への評価について ②認知症伴走型支援事業を本市に導入することについて ③ネットワーク機器のデータセンターへの移設について ④本市における下水汚泥の堆肥化事業の推進について</p>
<p>天白牧夫</p> 	<p>①ビオトープの管理状況と生物多様性回復の課題について ②ビオトープと市民活動団体との連携可能性について ③ビオトープで企業版ふるさと納税を募ることについて ④社会教育施設で企業版ふるさと納税を募ることについて</p>
<p>日本維新の会 安川健人</p> 	<p>①まちの魅力増進と人口増加について ②浦賀レンガドックとまちづくりについて ③英語がしゃべれるまちづくりについて</p>
<p>小林伸行</p> 	<p>①「学びの多様化学校」の開設について ②夜間中学について ③小中学校教育にかかる家計負担の軽減策について ④中学校部活動の今後の出口戦略について</p>
<p>よこすか 未来会議 竹岡力</p> 	<p>①移住定住政策の情報発信について ②近居支援をすることについて ③より広くいじめの相談ができるようにすることについて ④いじめの支援体制をより重層的に整備することについて</p>
<p>よこすか 未来会議 小林優人</p> 	<p>①高校入試制度の変更に伴う学力向上の必要性について ②個別最適な学びと協働的な学びを進めることについて ③学校外での学習習慣をつけることについて ④学校外での学習支援について</p>
<p>藤野英明</p> 	<p>①再発した8050問題に関わる殺人事件への本市の対応 ②夜間福祉相談の試行に際して全く不十分だった情報発信 ③リトルベビーハンドブック配布開始に伴う本市の対応 ④母乳バンクのドナー登録者を増やす為の様々な取組</p>
<p>日本共産党 大村洋子</p> 	<p>①基地からのPFAS原因究明フェードアウトは許されぬ ②自衛隊への個人情報提供は自己情報コントロール権を侵害 ③身勝手な米軍5号桟橋拡張に伴う浚渫工事は市是に矛盾 ④市長の「DNA発言」「選択的夫婦別姓観」を問う</p>

9月定例議会 審議結果

○=賛成、×=反対

賛否が分かれた議案	会 派					無党派		
	自由民主党	よこすか未来会議	公明党	日本共産党	日本維新の会	小林伸行	天白牧夫	藤野英明
	14人	10人	7人	3人	2人			
令和5年度横須賀市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	×	○	○	○	×
コミュニティセンター条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○
青少年の家条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○
老人デイサービスセンター条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○
老人福祉センター条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○
福祉援護センター条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○
令和4年度横須賀市一般会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	×
令和4年度横須賀市特別会計国民健康保険費歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○
令和4年度横須賀市特別会計介護保険費歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○
令和4年度横須賀市特別会計後期高齢者医療費歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○
令和4年度横須賀市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	○
令和4年度横須賀市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	×	○	○	○	○
令和4年度横須賀市病院事業会計決算	○	○	○	×	○	○	○	○
教育委員会委員選任について	○	○	○	○	○	×	○	○
令和5年度横須賀市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	×	×	×	○

※その他議案18件については、全会一致で可決、認定または同意しました。詳細は市議会ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。

※議長は、議事を取り仕切る立場から、採決には加わりません。

会派所属議員名 令和5年10月4日現在

- 自由民主党** 加藤真道 南まさみ 青木哲正 青木秀介 田辺昭人 松岡和行 大野忠之(議長) 渡辺光一 西郷宗範 山本けんじゅ 大貫次郎 池田徳重 高橋いずみ 泉谷 翔
- よこすか未来会議** 高橋英昭 加藤ゆうすけ 伊関功滋 小幡沙央里 工藤昭四郎 小林優人 竹岡 力 長谷川昇 葉山なおし 堀りょういち
- 公明党** 土田弘之宣 石山 満 関沢敏行 本石篤志 二見英一 川本 伸 菅原恵美子
- 日本共産党** 大村洋子 井坂 直 ふじそのあき
- 日本維新の会** 安川健人 ひろなか信太郎

請願・陳情

	件 名	結 果
請願	日本政府に核兵器禁止条約の署名及び批准を求める意見書の提出について	不採択
	女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書の提出について	採択(意見書提出)
陳情	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛について	審査終了
	配慮ある重度障害者医療費助成施策の実施について	審査終了
	障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援について	審査終了
	小中学校給食費の徴収免除対象の拡充について	審査終了
	現行(紙)の健康保険証の存続を求める意見書の提出について	趣旨不了承
	従来型(紙)の健康保険証の存続を求める意見書の提出について	趣旨不了承
	新型コロナウイルスワクチン接種券の送付中止について	趣旨不了承

「審査終了」とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

意見書

件 名	結 果
女性差別撤廃条約選択議定書の早期批准を求める意見書の提出について	可決(全会一致)

編集後記 広報広聴会議では、今年度、高校生を対象とする広報広聴会議開催に向けて、検討を進めています。若年層への議会への関心喚起を通じて、自分たちのまちのことを自分たちで決める市民意識形成を目指し、将来のより良い横須賀市政へとつなげます。

編集：広報広聴会議(◎=委員長、○=副委員長)◎大貫次郎/○加藤ゆうすけ/池田徳重/渡辺光一/松岡和行/竹岡 力/長谷川昇/川本 伸/土田弘之宣/ふじそのあき/天白牧夫

横須賀市議会公式X(旧Twitter)は下の2次元コードから!



令和5年12月定例議会の予定

開催日	会議名
11月17日(金)	予算決算理事会
11月20日(月)	議会運営委員会
11月28日(火)	議会運営委員会
11月29日(水)	本会議、予算決算常任委員会(本会議終了後)
12月4日(月)	民生常任委員会(予算決算分科会) 都市整備常任委員会(予算決算分科会)
12月6日(水)	総務常任委員会(予算決算分科会) 環境教育常任委員会(予算決算分科会)
12月8日(金)	議会基本条例検証特別委員会
12月12日(火)	予算決算理事会、予算決算常任委員会(11時)
12月14日(木)	議会運営委員会、本会議(14時)

11月30日(木)、12月5日(火)、7日(木)、11日(月)、13日(水)は予備日です。インターネットで中継もご覧になれます。(本会議は手話通訳も同時に行っています。)
時間の記載がないものは10時開会。開会日時は変更される場合があります。傍聴のご案内など最新の状況は市議会HPか議事課でご確認ください。

羅針の小径

市議会ギャラリー「羅針の小径(こみち)」では、市立横須賀総合高校美術部の生徒たちによる絵画作品を展示しています。



同美術部は平成15年に創部され、これまで全国の展覧会、さらには国際コンクール等で毎年受賞者を輩出しており、人物画や風景画に加え、想像力豊かに自由な世界観を表現された作品が議会の廊下を飾っています。

年に一度、作品の入れ替えを行っており、今回は10月3日に作品の一部を入れ替え新たなラインナップで展示しております。

土日祝日を除く平日の8時30分から17時まで、横須賀市役所9階の議会局にお声掛けいただければどなたでもご覧になれます。また、公式X(旧Twitter)でもご紹介します。